

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

架空請求や悪質商法、クーリングオフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、簡易なものについては電話あるいは直接窓口にて相談者にアドバイスを行い、より専門性を求められる相談については、市広報広聴課や三重県弁護士会、三重県消費生活センターをはじめとする各種の相談窓口の紹介を行った。

消費生活相談総件数	108 件
-----------	-------

2 多重債務相談

多重債務に陥っている人の債務整理や生活再建のため、三重県多重債務者対策協議会と共同で司法書士や弁護士による多重債務無料相談会を開催した。

- ・ 日 時 平成 20 年 2 月 23 日（土）午前 9 時 30 分～午後 4 時
- ・ 場 所 三重県伊勢庁舎会議棟
- ・ 相談件数 30 件

3 融資対策事業

小規模事業者に対する金融円滑化のため、三重県の融資制度である小規模事業資金の貸付を受けた者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

（1）小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件 数	保証料補給 補助金額	融資残高 (平成 19 年 12 月末)	取 扱 金 融 機 関 名
194 件	6,141,900 円	1,648,108 千円	百五銀行、第三銀行、 三重信用金庫、中京銀行ほか

（2）商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件 数	利子補給 補助金額	融資残高 (平成 19 年 12 月末)	取 扱 金 融 機 関 名
27 件	332,062 円	123,136 千円	百五銀行、第三銀行、 国民生活金融公庫、中京銀行

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる金額は、法律（中小企業信用保険法）によりその上限が定められているが、取引先の急な倒産や災害、営んでいる業種自体が不況の影響を深刻に受けている場合など、緊急の事由により資金需要が発生した際に、上限一杯の保証を受けていたために、新たな融資を受けられないということがないように、一定の要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証を受けられるよう「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	46件	中小企業信用保険法第2条第4項第5号
金融機関の相当程度の経営合理化に伴って借入れが減少している中小企業者	13	中小企業信用保険法第2条第4項第7号

4 物産販売促進事業

(1) 物産展等への出展

協同組合三重県物産振興会及び伊勢市産業振興会と連携して全国の物産展等に出展し、販路の開拓及び特産品の宣伝振興に努めるとともに、物産展等を利用して伊勢の物産を紹介した観光パンフレット等を広く配布し、PRに努めた。

※物産展等の状況

開催日	開催場所	名称
19. 4.10 ～ 4.16	(株) 三越 池袋店	第14回三重のふるさと展
19. 4.24 ～ 4.30	(株) 三越 札幌店	第2回三重のふるさと展
19. 8. 1 ～ 8. 7	(株) 鶴屋百貨店 (熊本市)	第1回伊勢の国お土産と横丁展
19. 9.25 ～ 10. 1	(株) 三越 広島店	秋のフォーマル大祭典とパールフェア
19. 9.26 ～ 10. 2	(株) 津松菱百貨店	第6回ふるさと三重物産展
19.10.16 ～ 10.26	(株) 三越 日本橋本店	第51回旬味まるごと三重展
19.11.27 ～ 12. 2	(株) 天満屋 岡山本店	第1回三重県の観光と物産展
20. 1.17 ～ 1.22	(株) 福屋 広島駅前店	伊勢・志摩パールフェア
20. 1.22 ～ 1.27	(株) 三越 高松店	第8回三重の味と技めぐり
20. 2.13 ～ 2.19	(株) うすい百貨店 (郡山市)	第8回三重県の物産展

20. 3.18 ～ 3.23	(株) 三越 広島店	第2回美味し国まいるう三重展
20. 3.28 ～ 4. 2	(株) 西武 八尾店	第1回三重県の観光と物産展

(2) 観光土産品の質的向上

消費者を保護するため、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会を通じて、その会員が販売している商品の内容量、容器及び表示等を審査し、優良商品の認定と、適正ではない商品には善処を求めることで観光土産品の質的向上に努めた。

区 分	開催年月日	出品数	審 査 結 果		
			合 格	条件付合格	不 合 格
第1回審査委員会	19. 7.19	点 19	点 19	点 -	点 -

(3) 伊勢志摩地域で事業活動をする販売業者等に対するセミナー開催

伊勢志摩地域で活動する販売業者等の更なる質的向上を図るため、伊勢中小企業相談所、伊勢市産業振興会、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会の共催により、その会員向けに営業活動に関するセミナーを開催した。

開催日	開催場所	名 称
19. 8. 2	伊勢商工会議所 5階大ホール	人材力アップで業績アップ！ 「トップセールスマンの“営業の極意”」
20. 2.27	伊勢商工会議所 5階大ホール	顧客の心を掴む 「ホスピタリティコミュニケーション」

5 中小企業振興対策

中小企業の経営体質改善及び強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会の実施する事業に要する費用に対して補助金を交付した。

助 成 団 体	事 業 内 容	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	中小企業に対する講習会の開催、経営指導、金融の斡旋	円 9,500,000
小俣町商工会	中小企業に対する経営指導や記帳指導 (経営改善普及事業)	7,200,000
小俣町商工会	管内の小規模事業者によるスケールメリットを活かした大売出し事業(地域小売商業活性化対策事業)	168,000
小俣町商工会	商工の振興に関するための調査、研究、講習計画策定、情報誌の発行等(商工会強化事業補助金)	71,670

6 伊勢志摩総合地方卸売市場貸付金

卸売市場の経営安定を図ることにより、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図る。

- ・貸付目的 運転資金
- ・貸付金 18,000千円
- ・貸付利率 無利息
- ・貸付期間 平成10年度～平成21年度（12年間）
- ・返済方法 一括返済
- ・償還期限 平成23年3月31日

7 矢持地区情報通信基盤整備事業

市内において携帯電話のサービスエリア外となっている矢持町に携帯電話基地局を設置し、矢持町の緊急時の連絡手段を確保すると同時に、地域住民の生命・財産を守り、併せて観光振興も含めた地域活性化を図るものである。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
矢持町地内	矢持携帯基地局測量設計業務委託	用地測量 A = 0.2ha 林道測量 L = 0.18 km 設計業務 一式	円 (注1) 1,260,000	19. 6. 18	19. 9. 10
〃	矢持携帯基地局地質調査業務委託	地質調査 1箇所	(注1) 1,165,500	19. 6. 18	19. 8. 16
〃	矢持携帯電話鉄塔設計業務委託	設計積算業務 一式	(注1) 1,291,500	19. 8. 20	19. 9. 20
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局地質調査業務委託	地質調査 1箇所	(注2) 1,121,400	20. 1. 28	20. 2. 21
〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局測量設計業務委託	用地測量 A = 0.04ha 林道測量 L = 0.03 km 設計業務 一式	(注2) 645,750	20. 1. 28	20. 4. 4

矢持町地内	矢持町菖蒲携帯電話基地局鉄塔設備設計業務委託	設計積算業務一式	円 (注2) 1,363,950	20. 2. 14	20. 4. 7
-------	------------------------	----------	------------------------	-----------	----------

(注1) 平成18年度から繰越

(注2) 平成19年度・20年度継続費

(2) 用地購入

場 所	業 務 名	地権者数	筆数	面 積	金 額
矢持町下村地内	携帯基地局設置事業	人 1	筆 1	m ² 1,300.94	(注1) 円 650,470
矢持町菖蒲地内	〃	1	2	524.94	1,994,772

(注1) 平成18年度から繰越

(3) 支障物件補償

場 所	業 務 名	地権者数	補償項目	金 額
矢持町下村地内	携帯電話基地局設置事業	人 1	立木補償	(注1) 円 790,910

(注1) 平成18年度から繰越

(4) 普通財産の有効活用及び処分事務

場 所	地目	件数	筆数	面 積	金 額	備 考
矢持町下村地内	山林	件 1	筆 1	m ² 1,300.94	円 1,441,380	携帯電話基地局設置事業 (立木補償分含む)

○ 中心市街地活性化事業

1 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗等活用事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、市が、いせTMO（事務局：商工会議所）に補助金を交付し、「活用モデル事業」、「テナント確保支援事業」、「チャレンジショップ事業」、「空地活用モデル事業」を実施した。当該事業は、新規創業者のための店舗開設、経営の一助だけでなく、商店主の競争心の向上や賑わいの創出にも繋がっている。

ア 活用モデル事業

(単位：円)

商店街名	名称	開設日	補助金額
高柳商店街	ふくふく館	平成 20 年 3 月	内装工事費 1,000,000
			家賃 1 箇月 50,000
			計 1,050,000
外宮参道発展会	外宮ひだまり処	平成 20 年 3 月	内装工事費 964,530
			家賃 1 箇月 35,000
			計 999,530
計			2,049,530

イ テナント確保支援事業

(単位：円)

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	めいりん村	伊藤王国	雑貨屋	135,000
	新道商店街	伊勢ペルソナ F C	サービス	20,000
	計			155,000

ウ チャレンジショップ事業

(単位：円)

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	高柳商店街	シャルム	ネイルサロン	209,000
		改装費	—	237,825
	新道商店街	大石小石	骨董屋	200,000
	めいりん村	おいん	雑貨屋	566,000
		改装費	—	700,000
	計			1,912,825

エ 空地活用モデル事業

(単位：円)

商店街名	名称	補助期間	補助金額
新道商店街	ふれあい広場	19. 4～ 19.11	賃借料 24,000

(2) 各種調査事業

ア 浦之橋・新道商店街通行量調査

浦之橋商店街においては、伊勢市新保育所「きらら館」が平成 19 年 4 月 1 日に開所され、開所前後の商店街に及ぼす影響の把握と今後の商業振興対策の基礎資料を得るため、開所後の通行量（自動車、歩行者）を調査した。

また、新道商店街においては、地産地消を目的とした「いせ産直市場」が新道商店街の空き店舗で開設され、その前後の商店街に及ぼす影響の把握と今後の商業振興対策の基礎資料を得るため、開設後の歩行者数を調査した。

イ 商業まちづくり補助金事業

市がいせ T M O に補助金を交付し、中心市街地商店街又はこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために行う事業（提案型）に対し補助金を交付した。

(単位：円)

選 定 団 体	事 業 名	補 助 金 額
伊勢銀座新道商店街振興組合	伊勢の夜祭	350,000
伊勢市商店街連合会	「若手の力発揮・醸成」事業	100,263
伊勢高柳商店街振興組合	ふくふくカード発行事業	350,000
伊勢明倫商店街協同組合	イメージアップ事業	350,000
計		1,150,263

(3) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められ、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むブランチャとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地区住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させながら協働のまちづくりを展開している。特に今年度は新設された地域内分権推進課と連携し、厚生地区まちづくりの会への活動支援として、平成18年度に地区住民が策定した「厚生地区まちづくり計画（けやき宣言）」の事業実施に積極的に関わった。

また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等やチャレンジショップの公募等を集合チラシ（新聞折込）にて情報発信を行った。

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 中高年齢職業相談

中高年齢者にとって厳しい雇用状況が続く中で、それに対応するため、伊勢公共職業安定所と協力し、サンライフ伊勢内に設置している相談室で中高年齢者を対象に職業相談を行い、雇用の促進に努めた。

求 人 相 談	求 職 相 談	職 場 適 応 相 談	計	就 職 件 数
2 件	4,490 件	1 件	4,493 件	103 件

(2) 若年求職者等支援事業

伊勢地域の雇用情勢は有効求人倍率が低下傾向となっており、また、求人と求職のミスマッチも大きく、雇用の実態感は依然と厳しい状況が続く中で、若年者の雇用情勢も厳しい状況にある。この状況に対応するために、カウンセリング事業及び有識者によるセミナーを開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。

○ カウンセリング事業

- ・実施期間 平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月の原則毎週火曜日におしごと広場みえ（三重県）と共同で開催した。
- ・委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・委託料 498,400 円
- ・実績 相談件数 161 件（うちカウンセリング件数 延べ 91 件）

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

平成 10 年 11 月 30 日に任意団体として設立した伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターは、社会的信用性の確保と公益性を明示するため、発展的に解散し、平成 15 年 4 月 1 日に社団法人として設立した。

当初は、伊勢市、鳥羽市、二見町、小俣町、玉城町及び御菌村の 2 市・3 町・1 村で広域設立し、平成 17 年 11 月 1 日の市町村合併により、現在は伊勢市、鳥羽市及び玉城町の 2 市・1 町で設立している。

この法人は中小規模の事業所が、単独では実施の困難な、福利厚生事業を提供することを目的として、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋及び補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、提携施設の割引利用斡旋及び各種チケット斡旋を行う余暇活動事業並びに教養文化教室の開催及び参加補助を行う自己啓発事業を行っている。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	八日市場町 13 番 13 号 (サンライフ伊勢内)	29,084,000 円

なお、平成 20 年 3 月末の状況は、次のとおりであった。

会 員 事 業 所 数	会 員 数
627 事業所	4,346 人

(2) 勤労者ふれあい事業

(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催して、'07 勤労者ゆとりフェスティバルを 10 月 21 日に県営サンアリーナを会場に開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 25,000 人が参加し、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中で、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するための労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	勢田町 628 番地 3 (伊勢市労働福祉会館)	19,730,000 円

なお、平成 20 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

会 員 数 (平成 20 年 3 月末現在)	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
795 人	72,566 人	3,361 件	332,131,026 円

(2) 高年齢者生活援助サービス事業費補助金

(社)伊勢市シルバー人材センターは、伊勢市健康福祉部長寿課から「伊勢市軽度生活援助事業」を受託し、日常生活に援助が必要な高年齢者に対して、高年齢者の在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を予防するサービスの提供をするため、軽易な日常生活上の援助を行っている。

この事業等の高年齢者生活援助サービスの実施に必要な介護講習や教材費、コーディネーターの謝金に係る費用を補助することにより、シルバー会員の就業支援だけでなく、シルバー人材センターの「福祉の受け手から担い手」としての体制づくりを支援した。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社)伊勢市シルバー人材センター	勢田町 628 番地 3 (伊勢市労働福祉会館)	2,500,000 円

なお、平成 20 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

登録会員数 (平成 20 年 3 月末現在)	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
83 人	8,842 人	700 件	35,397,594 円

4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢を、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行し、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指定管理者	指定管理料 (平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月分)
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	5,300,000 円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 476	件 266	件 638	件 344	件 840	件 22,870	件 25,434
利用者数	人 4,810	人 2,555	人 20,354	人 4,679	人 20,343	人 22,870	人 75,611

イ 利用料収入

区分	施設利用料	設備器具利用料	冷暖房設備利用料	計
19. 4～20. 3	13,163,820 円	496,560 円	610,930 円	14,271,310 円

ウ 自主事業

区分	講座の種類と講座数	講座回数	受講者数
趣味づくり	11種 13講座	353回	9,239人
健康づくり	6種 8講座	328回	7,425人
計	17種 21講座	681回	16,664人

5 労働福祉会館管理運営事業

(1) 伊勢市労働福祉会館運営委員会

労働福祉会館運営委員会を平成19年9月6日および平成20年2月18日の2回開催し、地域労働者の福利の増進と市民の文化向上を図るため、伊勢市労働福祉会館の今後の施設運営等について協議を行った。

・ 協議内容

平成19年9月6日 労働福祉会館移転の経過報告について
 平成20年2月18日 平成18年度利用状況及び収支決算について
 平成19年度利用状況及び収支決算見込について
 労働福祉会館の経過報告及び今後の対応について

・ 組織

委員長 副市長
 副委員長 産業部長
 委員 労働者を代表する者 4名
 公益を代表する者 2名
 市職員を代表する者 2名

(2) 運営状況

ア 使用件数及び使用者数

区分	大会議室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	和室1	和室2	計
使用件数	180件	326件	401件	158件	390件	223件	157件	1,835件
使用者数	7,052人	3,401人	6,809人	1,807人	1,479人	1,227人	1,817人	23,592人

イ 使用料収入

労働福祉会館使用料	3,117,770円
-----------	------------

6 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者の福祉の増進と体力の向上を図った。

(1) 開設状況

ア 開設期間 平成19年7月1日～9月10日(52日間)

イ 有料入場者数

区分 月別	大人	小人	付添人	計	超過料金者
7月	1,955人	3,068人	686人	5,709人	27人
8月	3,418	5,897	1,089	10,404	162
9月	201	318	65	584	5
合計	5,574	9,283	1,840	16,697	194

ウ 入場料収入

区分 月別	大人	小人	付添人	超過料金者	計
7月	575,220円	613,040円	68,420円	1,350円	1,258,030円
8月	1,025,400	1,179,400	108,900	8,100	2,321,800
9月	60,300	63,600	6,500	250	130,650
合計	1,660,920	1,856,040	183,820	9,700	3,710,480

7 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は10年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	協調残高
0 件	0 円	53,000,000 円	13,506,595 円

(2) 勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。この制度は、市が東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益で利子を軽減するものである。協調融資期間は4年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	貸付総額	協調残高
2 件	2,000,000 円	10,000,000 円	797,917 円

企 業 誘 致 課

○ 企業立地関係

1 企業誘致活動の推進

各種企業展への参加及び、日本立地センター・企業立地情報センター・三重県東京事務所等を訪問し、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握、補助金獲得も含めた活動を実施した。また、県内・市内企業にも目を向け、工場新設及び増設計画の動向調査の実施や、金融機関等関連各種団体を訪問し、情報収集するとともに企業の工場進出について協力を依頼した。

2 工場団地ならびに工場等誘致奨励制度の周知

市の優遇制度の周知を図るため、中部経済新聞（平成 20 年 2 月 14 日）・伊勢市ホームページ等に掲載し、市内工業団地の紹介ならびに市内への工場等の立地を奨励した。

3 工場等誘致奨励措置事業者の指定と奨励金の交付

伊勢市工場等誘致奨励条例に基づき、指定済の 1 事業者に対し奨励金を交付した。

事業者名	所在地	交付金額	備考
(株)オクノテック	伊勢市鹿海町字赤土山 439-1	806,300 円	最終年度 (3 年目)

(注) 1 事業者に対し、3 か年に亘り交付する。

4 企業立地研修会等への参加

地域活性化につながる企業誘致、工業開発を一層推進するため、研修会等に参加し情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
19. 6. 13	戦略的企業立地促進フォーラム in 中部	名古屋市	経済産業省中部経済産業局 戦略的企業立地のポイント
19. 10. 24	「産業立地と地域活力」シンポジウム	名古屋市	「産業立地と地域活力」に関する研究会 企業誘致、地域活性化、インフラ整備について考える
19. 11. 13～ 14	産業立地研修会	東京都	(財)日本立地センター 産業立地による新たな地域づくり
19. 11. 29	「企業誘致フェア 2008」 記念講演・開催説明会	東京都	(社)日本経営協会 企業立地の動向と今後の誘致活動ほか。

5 まつり博跡地企業誘致基盤整備事業

まつり博跡地への企業誘致を実現させるため、開発及び開発に係る社会基盤整備事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備測量 業務委託	平面測量 180,000 m ²	円 4,494,000	19. 6. 19	19. 8. 31
〃	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備設計 業務委託	管渠実施設計一式 開発申請書作成一式	3,972,150	19. 6. 22	20. 1. 31
〃	まつり博跡地企業 誘致基盤整備に伴 う水質分析検査業 務委託	水質分析検査一式	113,400	20. 2. 1	20. 3. 14
〃	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備汚水 管渠施設調査委託	管内TV調査工 L=907m	(注2) 887,250	20. 2. 15	20. 6. 30
計	4件		9,466,800		

(注1) 農林課施行

(注2) 平成20年度へ一部繰越

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町 地内	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備に伴 う汚水排水工事	管渠工 L=464m	円 26,065,200	19. 11. 22	20. 3. 14
〃	(注1) まつり博跡地企業 誘致基盤整備工事	管渠工 L=428m 排水構造物工 L=1,000m 防火水槽1基	(注2) 89,880,000	19. 12. 28	20. 6. 30
〃	まつり博跡地企業 誘致基盤整備工事 に伴う配水本管布 設工事	ダクタイル鉄管布設 φ200mm×258m φ150mm×233m φ100mm×145m 地下式単口消火栓 2基	(注2) 14,700,000	20. 2. 1	20. 6. 30
計	3件		130,645,200		

(注1) 農林課施行

(注2) 平成20年度へ一部繰越

産 業 支 援 課

○ 産業支援センター推進事業

1 産業支援センター建設への取り組み

産業支援センターの設立に向けて、より機能的で効率よい建物条件を満たすため、建物等の一部の変更設計を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内	(注1) (仮称)産業支援 センター新築工 事変更設計業務 委託	本棟鉄骨造 2階建 868.35 m ²	円 (注2) 1,260,000	19. 3. 30	19. 5. 10
		実習棟鉄骨造 2階建 307.84 m ²			
		渡り廊下 9.11 m ²			
		塗料保管庫 2.58 m ²			

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成18年度から繰越

産業支援センターの建設に向けて、諸手続きを経て、工事を完工した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町 地内	(注) 伊勢市産業支援 センター新築工 事(建築工事)	本棟鉄骨造 2階建 868.35 m ²	円 182,028,000	19. 7. 4	20. 2. 29
		実習棟鉄骨造 2階建 307.84 m ²			
		渡り廊下 9.11 m ²			
		塗料保管庫 2.58 m ²			
朝熊町 地内	(注) 伊勢市産業支援 センター新築工 事(機械設備工 事)	本棟 鉄骨造 2階建 868.35 m ²	48,221,250	19. 7. 20	20. 2. 29
		実習棟鉄骨造 2階建 307.84 m ²			
		渡り廊下 9.11 m ²			
		塗料保管庫 2.58 m ²			
		給水設備工事 一式			
		排水設備工事 一式			
		衛生器具設備工事 一式			
		給湯設備工事 一式			
		ガス設備工事 一式			
		雨水利用設備工事 一式			
		廃水貯留設備工事 一式			
		浄化槽設備工事 一式			
		空調設備工事 一式			
換気設備工事 一式					
自動制御設備工事 一式					

朝熊町内 地	(注) 伊勢市産業支援センター新築工事(電気設備工事)	本棟 鉄骨造 2階建	円	42,046,200	19. 7.20	20. 2.29
		868.35 m ²				
		実習棟鉄骨造 2階建				
		307.84 m ²				
		渡り廊下 9.11 m ²				
		塗料保管庫 2.58 m ²				
		受変電設備工事 一式				
		配電線路工事 一式				
		電灯設備工事 一式				
		動力設備工事 一式				
		電話設備工事 一式				
		インターホン設備工事 一式				
		拡声設備工事 一式				
		テレビ設備工事 一式				
通信線路工事 一式						
外灯設備工事 一式						

(注) 建築住宅課施行

産業支援センターの建設工事の監理を行うため、下記の業務を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了	
朝熊町内 地	(注) 伊勢市産業支援センター新築工事監理業務委託	本棟 鉄骨造 2階建	円	2,058,000	19. 7.18	20. 2.29
		868.35 m ²				
		実習棟鉄骨造 2階建				
		307.84 m ²				
		渡り廊下 9.11 m ²				
		塗料保管庫 2.58 m ²				

(注) 建築住宅課施行

産業支援センターの通信設備の充実を図るため、下記の業務を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内 地	伊勢市産業支援センターインターネット接続整備業務委託	インターネット系 LAN	円	20. 3.10	20. 3.23
		回線設計及びネットワーク機器の設定			
		LAN ケーブル等敷設作業			
		パソコン機器等の設定			
		パソコン機器等の設置			

2 産業支援センター設立のための情報収集

国・県や大学をはじめとする支援機関・研究機関などを訪問し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制のネットワークの構築を進めるなど、センター設立のための仕組みづくりを進めた。定期的実施したものとしては、伊勢市と伊勢商工会議所との連携により産業支援を研究する会として「産業支援センター分科会」を立ち上げており、そこで施策などの検討を行った。

3 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金の交付金額の確定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で事業経過及び実績等を審査したうえで決定した。

事業者名	交付額	事業内容
有限会社 共栄精工	2,000,000 円	円筒外径の異径材の方向整列を可能とし省スペース化低騒音化を実現するワーク供給装置の開発事業
株式会社 スペースアート	1,950,000 円	炎の揺らめきの増大事業（ネオン管製の“かがり火”）

4 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付し、伝統工芸の育成支援に努めた。

事業者名	交付額	事業内容
伊勢春慶の会	200,000 円	伊勢春慶オーダーメイド商品需要開拓事業

5 (株)三重TLOへの加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進している(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関への技術相談、共同研究開発の橋渡しを行うとともに、産業支援センターにおける産学連携の拠点づくりの準備を進めた。また、地元企業の人材確保の足がかりとして、三重大学と共催で、三重大学の学生を対象に地元企業の見学会を3回開催し、企業概要や独自技術を学生にPRする場を地元企業に提供し、将来の雇用にもつながるよう努めた。

6 ビジネス・インキュベーション事業

(1) 事業運営体制の準備

平成20年4月より、起業者をサポートし、新しいビジネスを事業化に導くため、その準備として、サポート希望者を調査し、ニーズを聞き取った。また、外部有識者などで構成した審査会を開催し、当事業の利用者を決定した。

(2) ベンチャーセミナーの開催

更なるサポート希望者を探るため、三重県、三重県産業支援センター、百五経済研究所、伊勢商工会議所、小俣町商工会と連携してベンチャーセミナーを開催し、この地域での起業の気運向上を図った。

ア 開催日 平成20年2月6日（水） 午後2時から4時まで

イ 場所 伊勢商工会議所中ホール

ウ 共催 三重県、三重県産業支援センター、百五経済研究所、伊勢商工会議所
小俣町商工会

(3) インキュベーション・マネージャーの配置

起業家とともに新しい事業の実現のため、課題を分析し、解決のための手法を提案したり、経営・財務などの専門家と連携し、起業家の事業家活動を総合的にサポートする当事業の中心的人材であるインキュベーション・マネージャーを配置するため、プロポーザル方式による選定を経て、民間企業にインキュベーション・マネージャーの業務を委託した。

- ア 委託事業名 インキュベーション・マネージャーの業務委託
- イ 委託期間 平成 19 年 9 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで
- ウ 実施場所 伊勢市役所内
- エ 契約金額 ￥4,666,000 円
- オ 委託先 株式会社 百五経済研究所

(4) 関連施設との情報交換

三重県内のビジネス・インキュベーション施設と連絡会議や施設見学などを通じて、意見交換や交流を継続した。

○ ものづくり支援事業

1 「地場産業展」の開催

展示会を開催し、主に伊勢地域で製造されている製品等を広く市民に紹介し、地域産業の認知度向上と企業間交流の促進に努めた。

- ア 開催日 平成 19 年 11 月 3 日（土）・4 日（日） 午前 10 時～午後 4 時
- イ 場所 三重県営サンアリーナ メインアリーナ
- ウ 共催 伊勢商工会議所、伊勢市産業振興会、伊勢市家具工業振興会
伊勢市建具振興会、(財)伊勢伝統工芸保存協会
三重小型船舶工業協同組合、小俣町商工会、ISE' LL-GROUP
三重県表具内装組合伊勢支部

2 研究開発

(1) 漆の塗装に関する研究

伊勢春慶については、春慶塗師へ漆芸の技術指導を行い、その技術向上を支援し、塗り技術のレベルアップを図った。また、伝統工芸における浅沓について一閑張りの技術を使用してミニチュアの試作研究を行った。

3 受託試験

(1) 各種材料試験

F R P 新造船の材料試験（船舶安全法により、F R P 特殊基準が定められており、12m 以上の F R P 新造船は、日本海事協会（N K）検定承認を受けた試験機による検査が義務付けられている。）を行った。

試験件数 10 件

4 講習会・講座等の開催

(1) 蒔絵教室

市民を対象とした蒔絵教室を開催し、漆芸技術並びに伊勢春慶等の製品に対する知識を広めた。

- ア 開催年月日 平成 19 年 5 月 17 日（木）～8 月 23 日（木）の期間における
毎週木曜日（17：00～） 全 13 回
- イ 開催場所 サンライフ伊勢 2 階研修室
- ウ 講師 元 工芸指導所長 木村 美登 氏
- エ 受講者数 10 人
- オ 内容 漆芸技術、手板の製作、蒔絵（平蒔絵、研出蒔絵）

(2) 夏休み親子教室 知ろう、作ろう、伊勢春慶

一般小学生を対象にした夏休み親子による木製ボールペンの春慶塗りの教室を開催し、伊勢春慶塗りの歴史、技術並びに製品に対する知識を広めた。（神宮司庁 文化部主催）

- ア 開催年月日 平成 19 年 7 月 25 日（水）午前・午後 2 回
平成 19 年 8 月 1 日（水）午前・午後 2 回
計 4 回
- イ 開催場所 神宮徴古館 2 階会議室
- ウ 講師 西井幸平 伊勢春慶塗師 森 勇三
- エ 受講者数 78 名（4 回合計）

(3) 漆芸技術講習会

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。（昭和 61 年 5 月から開催）

- ア 開催日 毎週 2 回程度
- イ 講座回数 88 回
- ウ 開催場所 工芸指導所 工作室、サンライフ伊勢 2 階研修室
- エ 講師 木村 美登 氏
- オ 受講者数 延べ 655 人

(4) ものづくり大学技術講座（竹繊維技術）

大学の持つ優れた技術を紹介する講演会を開催し、技術シーズ(種)を市内企業と結びつける機会を提供し、地場産業の技術力向上のきっかけづくりを行った。

- ア 開催日 平成 19 年 7 月 12 日（木）
- イ 開催場所 御菌公民館（御菌総合支所内）
- ウ テーマ 竹を生かすー強化材「ガラス繊維」から「竹繊維」へー
- エ 講師 同志社大学 工学部教授 藤井 透 氏
- オ 受講者数 34 人

(5)ものづくり大学技術講座（食品製造）

市内に数多く立地している中小食品企業の技術力向上のきっかけとなるよう、HACCP や ISO22000 をはじめとする、経営革新につながる情報の提供を行った。

ア 開催日 平成 19 年 9 月 13 日（木）

イ 開催場所 小俣図書館 2 階会議室

ウ テーマ 「中小・食品製造業者が存在してゆくための経営革新」

エ 講師 食品安全技術研究所 所長 小川 洋 氏

オ 受講者数 25 人

5 伊勢春慶工房整備補助金の交付

伊勢春慶の生産及び観光資源として見学や体験ができる拠点として、伊勢春慶の会が、河崎地区で「伊勢春慶デザイン工房」を整備することに対して補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
伊勢春慶の会	2,000,000 円	「伊勢春慶デザイン工房」の整備

6 生産技術等の向上支援

新製品開発、木材加工、接着技術、FRP・樹脂成形技術、漆工芸技術の向上等について、技術相談・実地指導を行い、企業の技術力の向上を図るための支援を行った。

支援の内容	件数又は人数
技術相談	100 件
実地指導	52 件
来所者	993 人

農 林 課

○ 農業振興関係

1 農林業者戸数

(1) 農家戸数

区 分		専 業	第一種兼業	第二種兼業	計
2000 年	伊勢市	186 戸	163 戸	2,004 戸	2,353 戸
	二見町	13	9	186	208
	小俣町	54	54	276	384
	御菌村	27	37	247	311
	計	280	263	2,713	3,256
2005 年		313	233	2,556	3,102

(農林業センサス)

(2) 農家林家・非農家林家戸数

区 分		農家林家	非農家林家	計
2000 年	伊勢市	160 戸	231 戸	391 戸
	二見町	24	25	49
	小俣町	2	22	24
	御菌村	0	5	5
	計	186	283	469

(農林業センサス)

2 農地面積

		田	畑	樹 園 地	総 面 積
2000 年	伊勢市	1,552.94 ha	121.94 ha	36.63 ha	1,711.51 ha
	二見町	80.69	19.85	1.11	101.65
	小俣町	379.05	40.12	7.41	426.58
	御菌村	146.97	51.55	2.76	201.28
	計	2,159.65	233.46	47.91	2,441.02
2005 年		2,020.31	175.81	92.19	2,288.31

(農林業センサス)

3 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成 7 市町で財政負担した。

伊勢市負担分 34,150,000 円

4 若い農業者育成確保推進事業

次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした稲刈り等を体験する農業体験学習会を実施した。

事業費 500,000 円 (市 500,000 円)

主な事業内容

対象小学校	実施日	内容	参加人数
東大淀 小学校	19. 5. 10	田植え	5年生:29人 1年生:19人
	19. 9. 12	稲刈り	5年生:29人 4年生:19人 1年生:17人
豊浜西 小学校	19. 6. 1	さつま芋定植、とうもろこし播種	6年生:39人
	19. 9. 5	除草作業	6年生:39人
	19. 10. 29	さつま芋・とうもろこし収穫	6年生:39人
城田 小学校	19. 4. 17	施肥	2年生:54人
	19. 4. 25	野菜ポット栽培定植	2年生:52人
	19. 5. 15	落花生等定植	2年生:52人
	19. 6. 25	草刈り	2年生:54人
	19. 7. 2	大豆定植	2年生:54人
	19. 10. 22	落花生収穫	2年生:51人
	19. 10. 30	大豆収穫	2年生:51人
四郷 小学校	19. 4. 25	田植え	5年生:36人
	19. 9. 4	稲刈り	5年生:36人
北浜 小学校	19. 5. 8	田植え	5年生:32人
	19. 9. 10	稲刈り	5年生:32人
計	17回	—	785人

過去3年間の新規就農者

平成17年度	平成18年度	平成19年度
2人	2人	2人

5 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善支援事業

優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に基づき認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 100件（平成20年3月末現在）

事業費 253,520円（市単独事業）

(2) 農地流動化地域総合推進事業

効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)		
	田	畑	計
利用権設定 (累積)	292.5	18.0	310.5
H19.4～H20.3 実績			
設 定	130.3	4.0	134.3
中途解約・期限切れ	30.1	2.4	32.5
所有権移転	1.2	0.2	1.4

6 農業関係制度資金の活用

(1) 農業経営改善関係資金

効率的かつ安定的な農業経営、農業生産ができる農業構造を確立するため、経営意欲と能力のある農業者が経営改善を図ろうとする場合に必要な長期資金を融資する制度で、本年度の実績は次のとおりであった。

(ア) 農業近代化資金

借入件数 13 件
借入総額 31,710,000 円

(イ) 農業経営基盤強化資金 (スーパー L 資金)

借入件数 1 件
借入総額 45,000,000 円

(2) 農業経営改善促進資金 (スーパー S 資金)

効率的・安定的な経営体を目指す農業者の必要とする運転資金を低利で、かつ、円滑に融通する制度で、本年度の実績は次のとおりであった。

借入件数 1 件
借入総額 10,000,000 円

(3) 利子補給補助事業

農業者等が活用できる制度資金である農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成し、農業経営の安定を図った。

(ア) 農業近代化資金

上半期	借入件数	63 件
	借入残高	162,186,000 円
	利子補給実績	362,487 円 (市 362,487 円)
下半期	借入件数	71 件
	借入残高	176,687,000 円
	利子補給実績	429,085 円 (市 429,085 円)

(イ) 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）

借入件数 3件

借入残高 99,829,682円

利子補給実績 149,427円（県 74,713円 市 74,714円）

7 遊休農地活用事業

自治会、ボランティア等により遊休農地へ景観作物等の種を蒔き、地域農業の振興や美しい景観をつくることを進め、農村環境（景観）の保全や地域農業の活性化につなげ、遊休農地の活用を図った。

事業内容 草刈・耕起業務、レンゲ・アロニアの作付

実施地区 二見町西区

実施面積 6,589㎡

事業費 197,004円（市単独事業）

8 特定法人貸付事業

担い手不足などにより増加している遊休農地の農業上の利用を図るため、伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想において、農業経営に意欲的な一般法人が農地を借り受け、営農を行う特定法人貸付事業の実施区域と位置づけた遊休農地を、事業実施にあたり整備を行った。

事業内容 除草剤散布・耕起業務

実施地区 村松地区

実施面積 6,173㎡

事業費 468,605円（市単独事業）

9 親子農業体験事業

担い手の不足と若者の農業離れが深刻化し、就農の促進や農業後継者の育成が重要となってきたため、農業体験を開催し、講師を明野高校生徒がすることにより、生徒が「伝える」ことを通じて農業への理解を深め、就農について考えるきっかけとし、若者の就農促進の一助とした。

また、受講対象を小学生とその保護者とするにより、自然の恩恵や「食」に関わる人々の活動、「食」の重要性について、家庭で話し合う機会をつくった。

事業費 238,000円（市 238,000円）

主な事業内容

	開催日	内容	開催場所	講師人数	受講者
第1回	19. 9. 29	・イチゴ定植 ・お茶手もみ体験、茶畑と製茶施設見学、みたらし団子作り	明野高校	18人	12組 29人
第2回	19. 11. 17	・イチゴ管理 (下葉かき、液肥散布) ・柿収穫、干し柿づくり		12人	13組 29人
第3回	20. 1. 20	・イチゴ収穫 ・ジャム作り ・受講証授与		13人	11組 26人

10 農業やってみませんか事業

農業の担い手不足が深刻になる中で、今後の農業振興・農村の活性化を図るためには、より多くの意欲ある人材の発掘が必要である。このため、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、セミナー及び実習を通して野菜栽培への理解を深めるための一助とした。

事業費 308,168 円（市 308,168 円）

主な事業内容

(1) 農業やってみませんかセミナー

開催日	内容	開催場所	受講者
19. 8. 29	・伊勢市の農業について概要説明 農林課 ・野菜づくりについて 伊勢志摩地域農業改良普及センター	伊勢市役所 会議室	36 人

(2) 野菜作り実習（講師 市内農業者）

	開催日	内容	開催場所	受講者
第 1 回	19. 9. 20	キャベツ・ブロッコリーの定植、大根・ほうれん草の播種、かん水、農薬散布	西豊浜町地内 講師ほ場	22 人
第 2 回	19. 9. 28	白菜の定植、大根・菊菜の播種、かん水、農薬散布	〃	20 人
第 3 回	19. 10. 13	大根・春菊間引き、小松菜収穫、ほうれん草・小松菜・かぶら・高菜・赤かぶら播種、除草	〃	17 人
第 4 回	19. 11. 13	大根・春菊・かぶら間引き、ほうれん草・大根・小松菜収穫、講師の出荷用ほ場見学	〃	20 人
第 5 回	19. 12. 10	白菜・大根・小松菜・赤カブ・ブロッコリー・春菊・キャベツ収穫	〃	22 人
第 6 回	20. 1. 16	ブロッコリー、かぶら、ほうれん草、高菜、菊菜収穫	〃	21 人
補講	20. 1. 26	実習の内容を振り返りながら、実習中に説明できなかった部分を補足し、参加者からの質疑を受け付けた。	御菌総合支所 講堂	20 人
講義	20. 2. 27	夏野菜の栽培方法について	〃	21 人

11 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、農業者・農業団体が主体的に取り組む米の生産調整を推進・支援した。

生産調整を確実に実施するため、地域水田農業の振興に資する観点から、伊勢市水田農業ビジョンとの整合性の確保及びビジョンの実現に向けた助言・指導を行う必要がある。このため、伊勢市水田農業推進協議会を主体とした地域農業者の主食用等水稻作付状況等の確認体制を整備するとともに、地域農業者の生産調整の実施状況の把握に努めるための業務、並びに市単独助成にかかる作付状況等の確認作業等業務を伊勢市水田農業推進協議会に委託し、事業を推進した。

事業費 4,435,255 円（県補助 1,659,000 円）

12 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成 19 年度除外決定分（平成 18 年度申請）

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	11 件	15 筆	11,557 m ²
農用地編入	0	0	0
農業用施設用地変更	0	0	0

事業費 152,250 円（市単独事業）

13 農業振興事業

(1) 営農指導対策事業

農村の振興、農業の持続的発展のため、農協各営農部会活動を支援し、地域農業の活性化を図った。

事業名	事業費	補助金額（市費）
農政対策事業	8,312,000 円	1,496,160 円

(2) 蓮台寺柿保存育成事業

市の天然記念物として親しまれている蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけるため、保存育成を推進し、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

交付先 蓮台寺柿保存育成研究会

補助対象事業 共同防除その他事業

事業費 482,400 円（市 45,000 円）

14 地産地消推進事業

近年、消費者の鮮度や旬のものに対する期待から、地域で生産された新鮮な農産物への期待が高まってきている動きのなかで、農林水産物を始めとする地元製品のPRや、一般市民や料理店等での地元食材の使用を推進することで、地産地消運動の推進を図った。

事業費 927,768 円（市 927,768 円）

(1) 料理講習会

主催	開催日	料理内容	参加者数	場所
伊勢市 中央生活学校	19. 9. 26	蓮台寺柿ときゅうりの 胡麻酢あえ等	23 人	伊勢市生涯学習センター
伊勢市 食生活改善 推進協議会	19. 10. 26	ちらし寿司等	63 人	伊勢市二見老人福祉センター
	19. 10. 27	レタスと卵のスープ等	32 人	小俣町環境改善センター
	20. 1. 20	菜の花のお吸い物等	20 人	伊勢市健康福祉センター
	20. 1. 30	五目ご飯等	21 人	ハートプラザみその

JA 伊勢	20. 2. 4	根菜ごはん等	16 人	JA 伊勢城田支店
	20. 2. 22	五菜手綱寿司等	34 人	JA 伊勢河崎支店、小俣支店
	20. 3. 14	野菜だらけのミートローフ等	16 人	JA 伊勢城田支店

(2)伊勢市地産地消の店認定制度

市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図り、地産地消の推進に資することを目的として、平成 19 年 12 月に創設した。

・対象食材

市内で生産され、又は採取された農林産物並びに市内の漁港で水揚げされた水産物と、それらの加工品

・対象店

市内産農林水産物を食材として取り扱っており、市内に店舗を有する飲食店、宿泊施設、食品加工事業所、直売所、小売店、量販店等

・認定する者

市内の消費者の代表、生産者の代表、農林水産物の流通の代表、認定対象業種の代表で構成する伊勢市地産地消の店認定委員会が認定する。

・認定

平成 20 年 6 月に飲食店 7 店、宿泊施設 2 店、小売店 2 店、直売所 4 店、量販店 2 店が認定される。

・啓発資材

認定店にはポスター、ステッカー、のぼり、卓上ミニのぼりを貸与する。

(3)学校給食記念日への地元農産物提供

学校給食記念日に市内の小中学校の給食へ地元農産物を提供し、地産地消の啓発を図った。

・提供先 市内小中学校 28 校

・提供品目 いちご

(4)伊勢市の食と農を考える会経費

農業の生産者、消費者、農産物の流通・加工・販売関係者と行政とが、地産地消の推進をはじめ、食の安全と安心の確保を含めた伊勢市の農業が抱える課題やその対応策を検討するための場として、平成 14 年 11 月に「伊勢市の食と農を考える会」を設立した。

平成 19 年度においては、資源循環型農業や伊勢市地産地消の店認定制度等をテーマとして、5 回にわたって会議を開催した。

(5) 特色ある農産物づくり支援事業

生産者が行う先進的、又は地域の特色ある農産物づくりを支援することで地域農業の活性化を図った。

・支援先 (有)お伊勢さん

・支援額 250,000 円

15 産直市支援事業

産直市施設の確保により、新鮮で安全な農作物を消費者に提供し、地産地消の推進を図り、さらに消費者との交流による中心市街地の活性化と地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地に産直市施設を設立し、農業団体等による地元農産物の販売を支援した。

事業費：1,197,000 円

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

(1) 修繕・浚渫工事

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
中 須 町 地 内	農業用排水路浚渫 (その1) 工事	L = 175.0 m	288,750 円	20. 1. 21	20. 2. 22
上 地 町 地 内	道路横断排水路工事	L = 8.0	96,600	20. 3. 14	20. 3. 21
中 須 町 地 内	菱川柵板補強工事	L = 5.0	99,225	20. 3. 21	20. 3. 28
計	3 件	—	484,575	—	—

(2) 草刈業務委託

施行場所	委 託 名	金 額
栗野町地内	菱川除草業務委託	29,151 円

(3) 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	東豊浜町地内 ほか3件	616,245 円
原 材 料 支 給	西豊浜町地内 ほか7件	545,969

2 農地・水・環境保全向上対策事業

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の資源の持つ多面的機能の発揮のため、市内12地区の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援を行った。

実施地区 12 地区(一色、西豊浜、有滝、村松、東大淀、柏、上地、粟野、鹿海、上野、
 円座、伊勢北部地区(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松))

実施面積 888.8 ha

支援金総額 38,345,000 円 (伊勢市負担分 9,586,000 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成 19 年 1 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 1,903,000 円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
19. 4. 1～19. 4. 30	21 日	2,962 人
19. 5. 1～19. 5. 31	20 日	1,829 人
19. 6. 1～19. 6. 30	17 日	1,787 人
19. 7. 1～19. 7. 31	18 日	1,145 人
19. 8. 1～19. 8. 31	18 日	1,224 人
19. 9. 1～19. 9. 30	20 日	1,119 人
19.10. 1～19.10.31	19 日	971 人
19.11. 1～19.11.30	17 日	1,648 人
19.12. 1～19.12.31	19 日	1,582 人
20. 1. 1～20. 1. 31	18 日	988 人
20. 2. 1～20. 2. 29	18 日	817 人
20. 3. 1～20. 3. 31	20 日	1,329 人

(2) 小修繕

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 地 内	横輪町直売所 郷の恵「風輪」照明器具 修繕工事	屋外照明器具修繕	円 8,925	20. 1. 16	20. 2. 29

4 樋門の維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1)三重県県土整備部所管

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会長	円 20,600
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会長	16,500
土路西条 5号	磯町	磯町自治会長	16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会長	20,600
津村	津村町	津村町区長	16,500
計	5樋門	—	90,700

(2)市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区自治会長	16,500
郷垣外	〃	〃	14,450
中坪井	東豊浜町	〃	16,500
下坪井	〃	西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地蔵池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
西曾	有滝町	豊浜土地改良区理事長	17,600
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600

明 野	東大淀町	東大淀町会長	円 15,000
東勘坊	柏 町	柏 町 会 長	17,600
大切戸	一色町	一色町自治会長	16,500
戸部神	〃	〃	16,500
中 渠	楠部町	楠部町自治会長	17,600
小 畑	中村町	〃	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会長	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西 沖	朝熊町	朝熊町自治会長	16,500
保 田	〃	〃	16,500
立 岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600
橋第二	〃	〃	14,600
橋	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨淵川	上野町	上野町区長	16,500
計	34 樋門	—	556,700

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
鹿海町地内	八郎兵衛樋門修繕工事	水密ゴム・ ブラケット取替	円 294,000	20. 3. 21	20. 3. 28

5 排水機場維持管理

(1) 補助金

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 768,905
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	110,213
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	625,994
社護神排水機場	有滝土地改良区	315,689
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	42,471
計	5件	1,863,272

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種類	平成 19 年度			
	肉用牛	乳牛	肉豚	採卵鶏
頭羽数 (頭羽)	521	16	600	27,500
戸数 (戸)	8	1	1	6

2 各種防疫

家畜伝染病予防法に基づき、予防接種を行った。

区 分	実施年月日	対象農家	対象家畜
結核病・ブルセラ病・ヨーネ病	19. 7. 2	2戸	乳牛

3 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 三重県松阪食肉公社
補助金 3,412,000円

○ 農業基盤整備関係

1 市単土地改良事業

(1) 農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
村 松 町 地 内 ほ か	農道舗装（その1）工事	L = 258.3 ^m	円 1,977,150	19.11.20	20. 1.18
上 野 町 地 内 ほ か	農道舗装（その3）工事	L = 354.0	2,969,400	20. 1.29	20. 3. 5
円 座 町 地 内	農道整備工事	L = 20.0	1,570,800	19.11.27	20. 2. 4
計	3件	—	6,517,350	—	—

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
柏 町 地 内	農業用排水路（その1）工事	L = 263.5 ^m	円 3,582,600	20. 1.29	20. 3.14
津 村 町 地 内	農業用排水路（その2）工事	L = 127.8	4,508,700	20. 2. 5	20. 3.28
計	2件	—	8,091,300	—	—

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
県営ため池等整備事業 一色町大切戸地区	施設土工（旧体取壊）一式 仮設工一式	円 88,200,000	円 7,350,000
県営かんがい排水事業 宮川2工区	用水路 L = 657.5m 電柱補償一式	257,250,000	4,514,679
県営かんがい排水事業 宮川4工区	用水路 L = 743.5m	103,950,000	15,592,000
県営かんがい排水事業 宮川4工区その2	用水路 L = 160.5m 測量設計 一式	74,550,000	11,175,067
経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L = 1,098.1m 支線用水路 L = 3,405.2m 農道 L = 1,131m	325,500,000	3,556,953

県営ふるさと農道整備事業 松下地区	道路工 L=370m 用地買収・補償 一式	円 282,800,000	円 99,400,000
県営ふるさと農道整備事業 御菌地区	用地測量・設計 一式 用地買収・補償 一式 歩道工 L=184m	40,400,000	14,200,000
計	7件	1,172,650,000	155,788,699

(2)補助金

ア 土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

(市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施行年度	事業名	事業概要	市補助額
宮川用水 土地改良区	昭和 61～ 平成 3	県営施設整備事業市町 村負担金	用水路工事	円 (注) 3,353,000
〃	19	土地改良施設維持管理 適正化事業 (27・31期生)	揚水機場整備補 修工事 一式	570,460
〃	19	土地改良施設維持管理 適正化事業 (28期生)	用水路補修工事 一式	973,800
〃	19	土地改良施設維持管理 適正化事業 (29期生)	用水路補修工事 一式	127,000
〃	19	土地改良施設維持管理 適正化事業 (30期生)	用水路補修工事 一式	48,400
伊勢北部 土地改良区	6～ 15	県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782
〃	5	〃	〃	(注) 685,141
豊浜 土地改良区	5～ 11	団体営土地改良総合 整備事業(豊浜・森・ 小川地区)	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	9～ 11	県単土地基盤整備事業 (磯地区)	排水路工事	(注) 1,450,106
〃	13～ 15	基盤整備促進事業(大 方後地区)	用水路工事他	(注) 886,730
朝熊 土地改良区	4	団体営土地改良総合整 備事業(小規模排水) 名古屋砂地区	用排水施設整備 他	(注) 2,828,970

五十鈴川用水 土地改良区	19	頭首工維持管理費 木出頭首工	電気料金ほか	円 396,642
伊勢南部 土地改良区	4～ 9	団体営農道整備事業 (伊勢南部地区他)	農道舗装工事	(注) 969,586
〃	19	揚水機改修事業	揚水機改修工事	179,500
〃	19	県単土地基盤整備事業	排水路改修工事	526,500
宮川左岸第二 土地改良区	19	県単土地基盤整備事業	干害応急対策事 業	163,800
小俣町 土地改良区	19	用水路補修事業	用水路漏水補修	2,100,000
上條 水利組合	19	宮川用水漏水修復事業	用水路補修工事	70,000
長屋 水利組合	19	農業用制水弁保護柵補 修事業	制水弁保護柵補 修事業	56,000
〃	19	市道長屋23号線農業用 用水路補修工事	用水路補修工事	106,900
計	20件	—	—	52,950,476

3 国営造成施設管理体制整備強化支援事業

国営で造成した土地改良施設（頭首工、揚水機、用水路等）に対する国の助成制度で、施設の持つ多面的機能の発揮及び環境や安全に配慮した管理体制の高度化を図った。

管理体制整備強化支援事業 3,056,000円

（国 50% 1,528,000円 県 25% 764,000円 市 25% 764,000円）

4 農村総合整備統合補助事業

近年の農業のおかれている状況は、農家及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、伊勢市は平成11年3月に伊勢市農村総合整備計画書(伊勢2期地区)を策定し、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備、農村交流基盤整備等を進めることで、優良農用地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 集落道路整備事業

本地区の集落道は幅員狭小のため、農作物・生産資材等の搬入搬出、農業車両・緊急自動車等の通行に支障を来しており、農業集落道路として十分な機能を発揮していない。そこで集落道を整備することにより農業生産性の向上を図るとともに、車両の通行を容易にし、快適な道路としての充実に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
村 松 町 地 内	集道 13 号(舗装)工事	L = 468.1m A = 2,396 m ²	(注) 円 8,766,450	18. 9. 8	19. 5.15

(注)平成 18 年度から一部繰越

(2)集落水辺環境施設整備事業

伊勢湾沿いの河口付近には多くの遊水池が存在しているが、ゴミ等が堆積し、その機能が低下している。更に管理道もなく葦等が生い茂っているため、地域住民も近寄りがたい場所となり、維持管理にも支障をきたしている。そこで、遊水池の周辺を整備することで本来の機能を回復し保全を図るとともに、環境整備を行うことで地域住民の集う心安らぐ水辺空間を創造した。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	水辺環境 2 号工事	転落防止柵 L = 160m 張出デッキ 2 基 舗装工 L = 797 m ²	(注) 円 32,141,550	18.10.27	19. 6. 4

(注)平成 18 年度から一部繰越

5 むらづくり交付金事業

地域の農業の健全な発展を図るとともに、景観が優れ、豊かで住みよい、アメニティに満ちた農村としていくためには、地域の特性に応じた農業生産基盤の整備、生活環境の整備その他の福祉の向上とを総合的に推進する施策を的確に実施していくことが必要である。

このため、土地の農業上の利用と他の利用との調整に留意しつつ、地域住民等をはじめとする多様な主体の参加の下、地域の将来像及び農村振興施策の基本方針等を内容とする個性ある地域づくりを実現するための農村振興基本計画を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	農村振興基本計画書作成業務委託	設計業務一式	円 1,499,400	19.11. 9	20. 3.27

6 県単土地基盤整備事業

県単土地基盤整備事業として採択された伊勢南部土地改良区が実施する排水路工事を市が受託施行し、農業生産基盤の整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
円 座 町 地 内	農業用排水路整備工事	L = 65.0m	円 2,973,600	20. 2. 5	20. 3.24

○ 林業関係

1 林道修繕事業

台風等の影響により法面が崩落した林道において、通行の支障となっていた土砂を撤去し、補修を行い、機能の維持・向上を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
矢持町 地内	冷水林道崩落法面復旧工事	A=51.0 m ²	円 249,900	19. 7. 18	19. 7. 26
〃	冷水林道法面補修工事	A=27.0 m ²	229,950	20. 2. 29	20. 3. 28
計	2件	—	479,850	—	—

2 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
浦口町 地内	三郷山清掃業務委託	清掃 年16回	円 300,000	19. 4. 2	20. 3. 31
〃	三郷山草刈等(その1)業務委託	下草刈りほか 24,700 m ²	750,000	19. 5. 10	19. 6. 18
〃	三郷山草刈等(その2)業務委託	下草刈り 24,700 m ²	250,000	19. 10. 15	19. 11. 30
旭町 地内	三郷山ベンチ修繕工事	既設ベンチ補修 1基	18,900	19. 9. 7	19. 9. 21
浦口町 地内	三郷山給水施設衛生管理業務委託	給水施設 清掃・点検 一式	29,873	19. 7. 26	19. 8. 10
横輪町 地内	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 17,550 m ²	890,000	20. 1. 15	20. 3. 21
〃	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	19. 10. 18	20. 3. 31
計	7件	—	2,538,773	—	—

3 環境保全林整備事業

市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐を行う事により、保全林のもつ機能の向上を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
浦口町 地内	三郷山間伐業務委託	間伐 A=2.5ha	円 981,750	20. 1. 25	20. 3. 28

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 19.3ha	円 1,365,000	19. 5. 25	19. 7. 27
〃	松くい虫防除（伐倒くん蒸） 業務委託	枯松伐倒駆除 23.1m ³	534,450	19. 12. 28	20. 3. 11
〃	松くい虫防除（樹幹注入） 業務委託	樹幹注入 150本	1,213,800	19. 12. 28	20. 2. 4
東豊浜町 地内	松林下草刈り業務委託	下草刈り 4,300 m ²	40,000	19. 9. 3	19. 9. 13
計	4件	—	3,153,250	—	—

5 有害鳥獣捕獲等事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行い、被害の減少に努めた。

区分	件数	延べ人員	捕獲数
神宮林内	4件	161人	イノシシ 62 シカ 61
鳥獣保護区内	3	6	イノシシ 9
その他	40	267	イノシシ 45 シカ 40 サル 10 ドバト 45 ハシブトガラス 32 ムクドリ 39 ゴイサギ 6 スズメ 85 イタチ 1
計	47	434	—

(2) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 4件（メジロ：新規 1件 更新 2件 ツバメ：救護 1件）

手数料収入 10,200円（手数料 1件 3,400円、救護については手数料免除）

(3) 獣害防止事業

有害動物（猪・鹿・猿）による農作物被害軽減のため、狩猟家による有害動物捕獲に助成することにより、収穫量低下を防ぎ農業継続意欲の減退を抑制した。

内容 有害動物（猪・鹿・猿）の捕獲に対して助成。

猿 1頭 10,000円 猿以外 1頭 3,000円

平成19年度事業実績

捕 獲 数		頭
イノシシ	39	
シカ	38	
サル	6	

事業費 291,000円 (市 291,000円)

○ 辺地対策関係

1 一字郷総合整備事業

近年、横輪町・矢持町地域は過疎化が大きな問題となっているが、これらの地域の貴重な自然・歴史・文化が途絶えてしまうことのないよう「自然と共生する、平家ゆかりの郷『一字郷』」を理念とし、都市住民との交流施設の整備を行い、地域の振興を図った。

(1) 横輪地区活性化事業

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 地 内	環境林登山道整備工事	L=1,806m	(注) 円 2,499,000	19. 6. 26	19. 9. 21
〃	遊歩道整備工事	L=212.4m	(注) 2,031,750	20. 1. 29	20. 3. 21
〃	遊歩道階段設置工事	階段工 1基	(注) 1,207,500	20. 1. 25	20. 3. 14
計	3件	—	5,738,250	—	—

(注)平成18年度から繰越

イ 用地買収関係

施行場所	工 事 名	地権者数	筆 数	面 積	金 額
横 輪 町 地 内	一字郷総合整備事業	人 2	筆 5	m ² 2,944.08	(注) 円 2,355,264

(注)平成18年度から繰越

ウ 補償関係

施行場所	工 事 名	補償人数	補償項目	金 額
横 輪 町 地 内	一字郷総合整備事業	人 1	立木補償	(注) 円 2,684,630

(注)平成18年度から繰越

(2) 矢持地区活性化事業

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
矢 持 町 地 内	竜ヶ峠注意看板設置工事	看板設置 1基	(注) 円 96,600	20. 3.10	20. 3.28
宇治今在家町 地 内	山道整備工事	L=2,713m	(注) 2,625,000	19. 5.15	19. 8.10
計	2件	—	2,721,600	—	—

(注) 平成 18 年度から繰越

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
教育総務課	東 大 淀 町 地 内	北浜中学校運動場改修 工事	グラウンド改修 A=8,280 m ²	円 (注1) 29,187,900
〃	小 俣 町 相 合 地 内	小俣中学校運動場拡張 工事	グラウンド整備 A=6,130 m ²	(注1) 59,669,400
〃	〃	小俣中学校クラブハウ ス建築工事	コンクリートブロック造平屋建 A=74.1 m ²	(注1) 6,780,900
企業誘致課	朝 熊 町 地 内	まつり博跡地企業誘致 基盤整備に伴う污水排 水工事	管きよ工 L=464m	26,065,200
〃	〃	まつり博跡地企業誘致 基盤整備工事	管きよ工 L=428m 排水構造物工 L=1,000m 防火水槽 1基	(注2) 89,880,000
観光事業課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第 55 回全国花火大会施 設工事	放揚施設工事 一式 会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 栈敷工事 一式 施設撤去、原形復旧一式	18,921,000
〃	〃	第 55 回全国花火大会電 気設備工事	電話・電灯設備一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	2,944,200
計	7件	—	—	233,448,600

(注1) 平成 18 年度から繰越

(注2) 平成 20 年度へ一部繰越

イ 委託関係

所 属	施行場所	委 託 名	委託概要	金 額
企業誘致課	朝 熊 町 地 内	まつり博跡地企業誘致基盤 整備測量業務委託	平面測量 180,000 m ²	円 4,494,000
〃	〃	まつり博跡地企業誘致基盤 整備設計業務委託	管渠実施設計一式 開発申請書作成一式	3,972,150
〃	〃	まつり博跡地企業誘致基盤 整備污水管渠施設調査委託	管内TV調査工 L=907m	(注2) 887,250
商工労政課	矢 持 町 地 内	矢持携帯基地局測量設計業 務委託	用地測量A=0.2ha 林道測量L=0.18km 設計業務 一式	(注1) 1,260,000
〃	〃	矢持携帯基地局地質調査業 務委託	地質調査 1箇所	(注1) 1,165,500
〃	〃	矢持地区携帯電話鉄塔設計 業務委託	設計積算業務 一式	(注1) 1,291,500
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 地質調査業務委託	地質調査 1箇所	(注3) 1,121,400
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 測量設計業務委託	用地測量A=0.04ha 路線測量L=0.03km 設計業務 一式	(注3) 645,750
〃	〃	矢持町菖蒲携帯電話基地局 鉄塔設備設計業務委託	設計積算業務 一式	(注3) 1,363,950
計	9件	—	—	16,201,500

(注1) 平成18年度から繰越

(注2) 平成20年度へ一部繰越

(注3) 平成19年度・20年度継続費

● 産業建設課（二見）関係

○ 施設管理関係

1 二見しょうぶロマンの森維持管理経費

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」）について、平成18年9月より指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定期間 平成18年9月1日～平成23年3月31日

- ・平成 19 年度指定管理委託料 47,250,000 円
- ・平成 19 年度二見しょうぶロマンの森維持管理運営委託に伴う「民話の駅蘇民」販売収入等
44,474,097 円
- ・平成 19 年度施設利用状況

開館日数	来客人数
313 日	246,292 人

2 「しょうぶ園」の施設維持のため修繕を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 松下地内	「しょうぶ園」水路補修工事	排水路修繕 L=215m	円 2,189,250	19.11.27	20.2.8

3 しょうぶ園内道路、水路用地の一部未買収の用地を確保した。

ア 用地買収関係

施行場所	事 業 名	地権者数	筆数	面積	金額
二見町 松下地内	農業用施設維持管理事業	名 2	筆 6	m ² 188.28	円 413,444

○ 林業関係

1 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である音無山生活環境保全林において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二見町 茶屋地内	音無山管理業務委託	清掃、草刈 月1回 2人	円 153,652	19.4.1	20.3.31
〃	音無山吊橋橋梁点検業務委託	音無山吊橋橋梁点検	630,000	19.10.16	19.12.28
計	2件	—	783,652	—	—

2 音無山擁壁補強事業

音無山北斜面の遊歩道及び法面の擁壁に亀裂が生じており、このまま放置すると法面が崩落する恐れがある。法面の直下には国道 42 号が通っており多大な危害が及ぶとともに、音無山利用上支障をきたすことから、これらを未然に防ぐため擁壁補強事業の実施に着手した。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 茶屋地内	音無山擁壁補強工事	擁壁補強(ロックボルト工)N=51箇所 壁面緑化工	(注) 円 14,566,650	20.2.22	20.6.25

(注) 平成 20 年度へ一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町 茶屋地内	音無山擁壁補強工事調査・設計積算業務委託	測量、地質調査 設計、工費積算	円 7,560,000	19. 6. 12	19. 12. 12

3 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.35ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町 江地内ほか	森林環境創造事業業務委託（音無山）	下刈り 2.41ha 歩道草刈り 1.83ha 除伐 0.11ha	円 812,000	19. 7. 18	19. 12. 14

4 地域環境保全整林整備特別対策事業

(1) 海辺の公有林化支援事業

今一色地区から荘地区までの海岸線の保安林が機能を果たせなくなってきたため、機能回復及び整備を目的として用地を確保した。

ア 用地買収関係

場所	事業名	地権者数	筆数	面積	金額
二見町 西地内ほか	地域環境保全林整備特別対策事業	名 6	筆 6	m ² 1,346	円 6,730,000

(2) 海辺の公有林管理事業

海辺の森林の中核となる保安林及び林内歩道を適正に保全・管理するため、下刈り及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施し予防と機能維持を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町 今一色地内 ほか	松くい虫防除（伐倒駆除くん蒸処理）業務委託	枯松伐倒駆除 301.1m ³	円 5,034,750	19. 5. 25	19. 8. 20
二見町 西地内	保安林下草刈業務委託	下刈り・運搬 処分 2ha	2,567,250	19. 9. 28	19. 11. 13
二見町 今一色地内	松くい虫防除（伐倒くん蒸）業務委託	枯松伐倒駆除 55.5m ³	1,038,450	19. 12. 21	20. 2. 18
計	3件	—	8,640,450	—	—

● 産業建設課（小俣）関係

○ 農業振興関係

1 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成 19 年度除外決定分（平成 18 年度申請）

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	7 件	7 筆	6,307.67 m ²
農用地編入	1	1	2,925
農業用施設用地等変更	2	2	353

2 農地維持促進事業

県道玉川小俣線から県営大仏山公園までの市道湯田 22 号線の両側約 1ha に景観形成作物の栽培を委託した。休耕田を利用することで、農地の維持促進に努めるとともに農産物直売所やその周辺の「花のある通り」と共に景観向上に寄与し相乗効果をあげている。

○ 施設管理関係

1 農村公園施設管理事業

農振地域内の集落に建設された農村公園の維持管理に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町湯田地内	湯田農村公園整地工事	整地工 A=315 m ²	円 357,000	19.10.17	19.11.15

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
小俣町地内	公園管理委託	6 公園	円 339,920	19.4.1	20.3.31

2 市有財産の貸付

地域の農業振興等のため、次のとおり市有財産の貸付を行った。

(1) 市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料(年額)	用途	期間
小俣町湯田 55 番地	鉄骨造折板葺平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 19.4.1 至 20.3.31

○ 農業基盤整備関係

1 土地改良事業受託事業

土地改良施設の適正な維持管理を行うため、土地改良区が実施する修繕工事の受託を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町土地改良区域内	小俣町土地改良区用水路等整備受託工事	用水路漏水補修等補修箇所 10 箇所	円 5,298,300	19.11.22	20.3.14

● 産業建設課（御菌）関係

○ 農業振興関係

1 農業振興事業

(1) 営農指導対策事業

農村の活力が低下しているなか、農村の振興、農業の持続的発展のため、伊勢農協御菌支店各営農部会が行う事業を支援することにより、地域農業の活性化を図っている。

事業名	部会名	会員数	補助金額
農業振興補助金	J A伊勢菊部会	名 30	円 135,300
農業振興補助金	J A伊勢トルコ部会	7	11,100
計	2 件	37	146,400

○ 施設管理関係

1 農道、排水路管理事業

(1) 農道及び農業用排水路維持補修

農道及び農業用排水路の維持補修のため、除草業務委託により農道及び排水路の機能を保持し、農村環境の整備を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
御 菌 町 新 開 地 内	御菌町農道 860 号線排水 敷除草作業委託	除草 一式	円 63,000	19.6.15	19.6.29

○ 林業関係

1 鳥獣対策事業

狩猟技術及び安全対策の向上を図るとともに、鳥獣による農作物被害軽減のため駆除等の協力を得ることを目的として伊勢猟友会へ補助金を交付した。

事業名	会員数	補助金額
伊勢地区猟友会補助金	名 180	円 20,000

水 産 課

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、アサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業を主とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数及び漁業種類別経営体数は次のとおりで、生産状況は、貝類（アサリ等）が 621 t、魚類等が 439 t、くろのりは 4,294 万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成 19 年度			平成 18 年度			
			正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内)	旧伊勢市管内	東大淀	45	144	189	47	142	189
			村 松	67	101	168	68	175	243
			有 滝	65	101	166	70	203	273
			東豊浜	46	248	294	46	327	373
			大 湊	19	25	44	25	30	55
			一 色	16	41	57	17	213	230
			神 社	4	15	19	4	16	20
			小 計	262	675	937	277	1,106	1,383
	旧二見町管内	今一色	73	16	89	74	17	91	
		江	23	40	63	23	41	64	
		松 下	28	41	69	28	44	72	
		小 計	124	97	221	125	102	227	
	合 計		386	772	1,158	402	1,208	1,610	
内水面	宮川漁協		1,221	1,265	2,486	1,236	1,300	2,536	
	内伊勢市管内		348	220	568	371	232	603	

(注)宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

(各年度 4 月 1 日現在)

(2) 経営体数

(単位：戸)

漁業種類	平成19年度	平成18年度
小型底曳網漁業	137	98
採貝漁業	249	313
黒のり養殖業	30	31
刺網、一本釣、その他	168	123

(各年度4月1日現在)

(3) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種類	平成19年度	平成18年度
魚類	293,622	238,967
水産動物類	145,306	42,798
アサリ	399,684	955,127
その他の貝類	220,939	84,421
くろのり	42,944	44,620
あおのり	1,876	2,023

(4) 漁船数

(単位：隻)

地区名	3 t未満	3 t以上 5 t未満	5 t以上 10 t未満	10 t以上	合計
東大淀	82	11	1	0	94
村松	73	9	13	0	95
有滝	88	2	17	0	107
東豊浜	102	7	10	0	119
大湊	26	0	0	0	26
一色	23	0	0	0	23
神社	2	0	0	0	2
今一色	206	7	0	1	214
江	42	0	0	0	42
松下	35	0	0	0	35
合計	679	36	41	1	757

(平成19年4月1日現在登録分)

(5) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～30歳未満	3	0	3
30～40歳未満	14	3	17
40～50歳未満	34	20	54
50～60歳未満	57	48	105
60～70歳未満	112	103	215
70歳以上	128	56	184
計	348	230	578
平均年齢（歳）	63.5	62.5	63.1

(平成18年3月末現在)

2 実施事業の内容とその成果

(1) 水産振興事業

① アサリ稚貝育成調査事業

ノリ網敷設による効率的な種苗放流や漁場管理手法について検討するため、支柱柵によるノリ網設置箇所にアサリ種苗（20mm程度）を放流して、生息、育成について調査した。

実施場所	内 容	事業費	備考
二見町今一色 地 先	<ul style="list-style-type: none"> ・アサリ種苗購入・放流 (数量 16トン) ・生息調査2回 第1回 H20. 3. 6 第2回 H20. 3. 25 	2,900,400円	※平成19年度：種苗放流及び一部生息調査実施 ※平成20年度：継続調査及び調査結果報告

② 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立今一色小学校5、6年生（30名）に漁業に関する講習や施設見学、漁業体験してもらい、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	備考
二見町今一色 地 内	<ul style="list-style-type: none"> ○講習： 「伊勢市の漁業の概要」「ノリ養殖業について」 ○施設見学： ノリ加工施設、ノリ検査倉庫 ○漁業体験：ノリすき、ノリ摘み 	104,034円	開催日 平成20年2月21日

③各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
アサリ養殖振興事業	伊勢湾漁業協同組合	東大淀・村松・有滝・東豊浜・一色町、二見町各地先にアサリ種苗を放流 放流量 92 t	円 17,011,380	円 5,103,000	アサリ生産高の向上と成長後の産卵による資源の増大を図った。
種苗（クルマエビ等）育成事業	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 130万尾 トラフグ 34千尾 クロダイ 6千尾 各種苗を松阪市松名瀬海岸～二見町地先に放流	2,780,000	200,000	クルマエビ（中間育成後）、トラフグ、クロダイの種苗を放流し、資源確保と漁獲量の増大を図った。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 3,510 kg ウナギ 65 kg アマゴ 200 kg 各種苗を宮川流域に放流	10,260,000	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴ資源の確保と漁獲量の増大を図った。
二見地区潜堤標識灯設置事業	伊勢湾漁業協同組合	二見町松下地先潜堤標識灯更新 灯部7基更新 支柱2基建直し	1,575,000	472,000	二見町地先の潜堤に設置してある標識灯を更新し機能回復させ、海上交通の安全を図った。
合併漁協自立基盤確立事業	伊勢湾漁業協同組合	豊北漁港（東豊浜町地内）に船揚施設を設置 軌条1条（L=44m） ウインチ1台（3t巻き） 台車1組（2台） ウインチ小屋1棟 高圧洗浄機1台 ほか附帯設備一式	21,961,000	16,470,000	豊北漁港内に在籍する概ね5トン以上の漁船を対象とした船揚げ施設を設置し、漁船保全の適正化、操業の安全・効率化を図った。
合併漁協自立基盤確立事業	伊勢湾漁業協同組合	水産物密漁監視船建造（今一色支所所属） FRP製和船2.1t 船外機 250PS レーダー、GPS、その他附帯設備一式	4,890,000	3,667,000	毎年、伊勢市沿岸の干潟域で水産物の密漁事件が発生しているため、喫水線の浅い高速船を購入して密漁監視に努め、被害の抑制を図った。

合併漁協自立 基盤確立事業	伊勢湾漁業 協同組合	豊北漁港(有滝町 地内)に蓄養施設 用給水施設(井戸) を設置 井戸設置 φ100V P×15m	円 640,000	円 128,000	既存施設の老朽化 により活魚の蓄用 に支障をきたして いたため、新たに 給水施設を設置 し、活魚の保全を 図った。
計	7件	—	59,117,380	26,640,000	—

(2) 漁港関係事業

① 豊北漁港整備事業

航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し漁船の安全航行を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町・東豊 浜町地内	豊北漁港浚渫工 事	浚渫工 A=3,120 m ²	円 (注) 33,411,000	19. 2. 16	19. 5. 7
有滝町・東豊 浜町地内	豊北漁港浚渫工 事	浚渫工 A=1,350 m ²	18,800,250	19. 6. 1	19. 9. 11
計	2件	—	52,211,250	—	—

(注) 平成 18 年度から繰越

② 村松漁港整備事業

漁業者の高齢者対策の一つとして、荷揚げ作業時の安全確保並びに効率化を図るため、浮棧橋を整備した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町地内	村松漁港物揚場 整備工事	浮棧橋 一式	円 32,434,500	19. 7. 13	19. 11. 26
計	1件	—	32,434,500	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町地内	村松漁港事業関連積算業務委託	認可設計書作成一式 実施設計書作成一式	円 1,659,000	19. 5. 7	19. 6. 11
計	1件	—	1,659,000	—	—

③豊北漁港海岸整備事業

老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事を進めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備工事	堤防工 L=110.0m	円 (注1) 96,907,650	18. 9. 8	19. 5. 28
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備工事	堤防工 L=140.0m	100,373,700	19. 6. 22	20. 3. 14
有滝町地内	豊北漁港海岸堤防整備(その2)工事	堤防工 L=40.0m	(注2) 23,782,500	20. 2. 15	20. 7. 4
計	3件	—	221,063,850	—	—

(注1) 平成18年度から繰越

(注2) 平成20年度へ一部繰越

④豊北漁港津波・高潮危機管理対策緊急事業

角落し式となっている陸こう門をアルミ製の扉式に改良し、高潮や津波の防護に短時間で対応できるように整備をおこなった。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう整備工事	陸こう製作据付 2基	円 (注1) 18,026,400	19. 3. 2	19. 8. 28
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう整備工事	付帯工事 一式	1,861,650	19. 6. 29	19. 8. 28
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう整備(その2)工事	陸こう製作据付 6基 開口部閉鎖 7基	47,280,450	19. 9. 21	20. 3. 14
計	3件	—	67,168,500	—	—

(注1) 平成18年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地内	豊北漁港海岸陸こう事業関連積算業務委託	認可設計書作成一式 実施設計書作成一式	円 2,079,000	19. 7. 6	19. 8. 3
有滝町地内	豊北漁港海岸陸こう構造設計務委託(有滝地区)	陸こう詳細設計一式	1,071,000	19. 9. 3	19.11. 1
計	2件	—	3,150,000	—	—

(3) 漁港の管理

①漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や管理用道路の清掃業務委託を行い施設の機能維持を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	豊北漁港西条樋門修繕工事	樋門修繕 一門	円 409,500	19. 4.11	19. 5. 10
有滝町地内ほか	豊北漁港ほか陸こう門修繕工事	陸こう門修繕 2箇所	420,000	19. 4.20	19. 5. 10
二見町江内	江漁港看板設置工事	看板設置 2箇所	29,400	19. 7.24	19. 7.31
東大淀町地内	大淀漁港陸こう門乗入鉄板修繕工事	陸こう門乗入鉄板修繕工事 1箇所	98,700	19.10.22	19.10.29
有滝町地内	豊北漁港照明灯修繕工事	照明灯修繕 1箇所	70,350	19.11.12	19.11.16
二見町松下地内	松下漁港外灯修繕工事	外灯修繕 1箇所	5,250	20. 1.16	20. 1.18

東大淀町地内	大淀漁港照明灯修繕工事	照明灯修繕 一式	円 99,750	20. 2. 14	20. 2. 20
村松町地内	村松漁港安全標識設置工事	安全標識設置 一式	63,000	20. 2. 25	20. 2. 28
東大淀町地内	大淀漁港バックネットフェンス撤去工事	バックネットフェンス撤去 一式	84,000	20. 3. 17	20. 3. 21
計	9件	—	1,279,950	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地内ほか	豊北漁港区域変更座標明示作業業務委託	漁港区域変更座標明示 一式	円 94,500	19. 11. 1	19. 11. 27
有滝町地内	豊北漁港管理用道路清掃業務	清掃業務 一式	126,000	19. 11. 16	19. 11. 29
計	2件	—	220,500	—	—

②標識灯管理事業

漁船の夜間出入港の安全を確保するため、標識灯の点検を行い部品を交換した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地内	豊北漁港標識灯保守点検業務委託	標識灯保守点検 3箇所	円 68,250	20. 2. 25	20. 3. 6
計	1件	—	68,250	—	—

漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		18年度末 現在	19年度末 現在	18年度末 現在	19年度末 現在
村 松	第 1 種	1,403 m	1,403 m	404 m	404 m
江	第 1 種	1,564	1,564	261	261
松 下	第 1 種	502	502	101	101
豊 北	第 2 種	5,939	5,939	1,784	1,784
大淀(東大淀)	第 2 種	1,841	1,841	424	424
計	—	11,249	11,249	2,974	2,974

(4) 樋門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する樋門の維持管理及び操作を次のとおり委託した。

樋 門 名	所 在 地	委 託 先	委 託 料	区 分
亀 池	村 松 町	村松町会長 太田三郎	円 24,700	市管理
江 川	有 滝 町	有滝町会長 辻 正美	24,700	県管理
社 護 神	〃	〃	16,500	〃
イ ナ 川	〃	〃	16,500	市管理
浦 ノ 山	東豊浜町土路	東豊浜町土路町会長 山中 俊雄	16,500	市管理
墓 ノ 浦	〃	〃	20,600	〃
里 浦	〃	〃	16,500	〃
西条第一	東豊浜町西条	東豊浜町西条区町会長 河俣 裕	16,500	〃
計	8件	—	152,500	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁協が取り組むクルマエビ、トラフグ、クロダイの種苗放流について、放流適地、放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) 広域合併漁協の支援

平成 18 年 4 月 1 日に広域合併により伊勢湾漁協が発足し、漁業者の高齢化、後継者不足、水産資源の減少など多くの問題を抱える中、漁協経営基盤の強化による漁業者の経営と生活の安定を図るため、新漁協の円滑な運営にむけての助言、支援を行った。

(7) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力を小学生に啓発した。さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、平成 18 年度に「漁業の担い手等を考える会」が漁協主体で発足したところであり、漁業の担い手、新規就業者確保のための方策検討を行っている。

(8) 他課依頼工事等

他課から依頼のあった次の工事及び委託について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額
交通政策課	下野町地内	海上アクセス周 辺泊地浚渫工事	浚渫土量 $V = 15,410 \text{ m}^3$ 浚渫面積 $A = 7,548 \text{ m}^2$ セメント安定処理工 $V = 7,500 \text{ m}^3$ 護岸工 一式 構造物撤去工 一式	円 (注 1) 108,934,350
	下野町地内	海上アクセス周 辺施設整備工事	護岸工 $L = 24\text{m}$ 擁壁工 $L = 166\text{m}$ 排水工 $L = 296\text{m}$ 縁石工 $L = 528\text{m}$ 防護柵工 $L = 361\text{m}$ 給水設備工 $L = 234\text{m}$ 植栽工 $N = 813 \text{ 本}$	(注 1) 86,635,500
	下野町地内	海上アクセス周 辺電気施設整備 工事	高圧受電設備 1 式 駐車場外灯設備 19 基 係留施設動力設備 1 式 係留施設電灯設備 1 式	(注 3) 34,896,750

交通政策課	下野町地内	海上アクセス旅客ターミナル舗装工事	舗装工 A = 9,892 m ² 区画線工 L = 3,554 m ² 排水工 L = 16m 法面工 L = 1,830 m ² 縁石工 L = 59m 防護柵工 L = 34m	円 (注4) 27,263,250
	下野町地内	海上アクセス係留施設整備工事	浮棧橋加工・据付工 12m×33m 1基 連絡橋製作・据付工 3m×22m 1基 灯浮標 5箇所	(注2) 147,305,550

(注1) 平成18年度から一部繰越

(注2) 平成18年度から繰越

(注3) 平成20年度へ一部繰越

(注4) 平成20年度へ繰越

イ 委託関係

所 属	施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額
交通政策課	下野町地内	海上アクセス周辺施設深淺測量業務委託	深淺測量 16 測線 中心線測量 0.04 k m 縦断測量 0.11 k m	円 (注1) 1,505,700
	下野町地内	海上アクセス周辺施設積算業務委託	積算業務 一式	(注1) 2,887,500

(注1) 平成18年度から繰越